



警告のニューズレター「角笛」

発行日：2018年1月発行（第93号）

発行：警告の角笛出版

価格：フリーペーパー

角笛 HP: <http://www.geocities.co.jp/Technopolis-Mars/5614/>

〔目次〕

- ◎巻頭メッセージ：「反対を受けるしるし」 エレミヤ
- ◎時代を悟る「人間の教えを、教えとして教える者」 H.F
- ◎お知らせコーナー 「本の紹介」

[巻頭メッセージ]

「反対を受けるしるし」 by エレミヤ

テキスト：ルカ 2:34 また、シメオンは両親を祝福し、母マリヤに言った。「ご覧なさい。この子は、イスラエルの多くの人々が倒れ、また、立ち上がるために定められ、また、反対を受けるしるしとして定められています。」

2:35 剣があなたの心さえも刺し貫くでしょう。それは多くの人々の心の思いが現われるためです。」

<キリストは反対を受けるしるしとなった>

本日は「反対を受けるしるし」としてメッセージしたいと思います。上記テキストの中で、シメオンは、幼子キリストに対して、彼が「反対を受けるしるし」として定められていることを語りました。このことの意味合いを考えて見たいと思います。

このシメオンの不吉な預言はキリストの生涯の中で成就しました。初降臨のキリストを、すべてのイスラエル人が歓迎して受入れたわけではありません。それどころか、キリストは最終的にはエルサレムの多くのユダヤ人に拒否され、裁判で有罪とされ、死刑判決を受け、都の外のゴルゴダの丘で十字架の上に命を失ったのです。

キリストの生涯の最後には多くの人々が彼に反対し、彼をカルトよばわりし、彼を神の敵呼ばわりし、異端呼ばわりし、有罪を宣告しました。キリストは多くの人々の「十字架につける」との怒号と怒りと、反対と拒絶の中で命を失いました。ですので、シメオンの不吉な預言、すなわち、キリストは「反対を受けるしるし」となる、との預言は悲しくも見事に成就してしまったのです。

<初降臨のキリストを見分けることは難しかった>

初降臨の日のキリストに関して、福音書が私たちに語る事実は、多くの人々がイエス

「反対を受けるしるし」 by エレミヤ

をキリストであると悟れなかったこと、多くの人が彼を誤解してしまった、最後には自分らの意思でキリストを十字架につけてしまったということです。

そしてあえていうならもう一つのことはいえます。それは、ナザレのイエスが聖書の預言したキリストであると悟ることは難しかった、という事実です。学校のテストになぞらえるなら、初降臨のキリストを正しく悟ることは難問中の難問、といえます。あたかもひっかけ問題のように、このこと、イエスがキリストであると悟ることは難しかったのです。

難問？と思う人もいるかもしれません。説明します。たとえば、ミカ書はキリストの生誕の地に関して以下の様に預言しています。

ミカ5:2 ベツレヘム・エフラテよ。あなたはユダの氏族の中で最も小さいものだが、あなたのうちから、わたしのために、イスラエルの支配者になる者が出る。その出ることは、昔から、永遠の昔からの定めである。

聖書はキリストがベツレヘムに生まれることを預言しているのです。それで、この知識が仇になり、聖書に精通している律法学者やパリサイ人などは、ナザレのイエスを拒否し、受け付けず、排斥しました。ナザレ出身ということだけを取り上げてイエスを拒否したのです。実際は福音書が語るようにイエスは旅の途中でベツレヘムで生まれているのですが、表面的なことしか見ない彼らはみな見事に間違え、キリストを悟ることができなかつたのです。あたかも神の引っ掛け問題にひっかかたように彼ら偽善的なパリサイ人たちは初降臨

のキリストを誤解したのです。別の表現をするなら、以下のつまずきの岩となるとの預言がキリストの生涯において成就したのです。

イザヤ8:14 そうすれば、この方が聖所となられる。しかし、イスラエルの二つの家には妨げの石とつまずきの岩、エルサレムの住民にはわなとなり、落とし穴となる。

8:15 多くの者がそれにつまずき、倒れて砕かれ、わなにかけられて捕えられる。

そうです、キリストの来臨は多くの人にとりわなのように用いられたのです。

<初降臨のイエスはつまずきの岩として来た>

これらのことを通して私たちは神が初降臨のキリストを送られたその一つの意図、目的を理解します。それは、人の心の本音、隠れた意図をみわけるためだったのです。あたかもテストの時の難問、ひっかけ問題のようにしてキリストは来臨し、そして、多くの人の真の心が表されるためにこられたのです。シメオンは幼子キリストに関して「この子は、イスラエルの多くの人が倒れ、また、立ち上がるために定められ、また、反対を受けるしるしとして定められています。」と語りました。

初降臨のキリストを誤解した多くのイスラエル人が倒れ、つまずくこと、さらに偽善的な歩みをする人々がキリストに反対することを前もって預言したのです。

「反対を受けるしるし」 by エレミヤ

また、彼は初降臨のキリストを通して人々の本音や真の心があらわにされることを預言して「それは多くの人の心の思いが現われるためです」と語ったのです。

＜多くの人の真の心の思いは現された＞

確かに、この初降臨のキリストを通して多くの人の隠れた思い、真の心があらわにされました。白く塗られた墓、すなわち、外側はきれいでも、その心の内側はあらゆる罪や貪欲に支配されていた律法学者やパリサイ人は、見事にわなにかかり、つまずきの岩であるキリストにつまずきました。彼らは神から使わされたひとり子を誤解し、認めることができず、逆に彼を捕らえ、有罪として、十字架につけることにより彼ら自身の悪のます目を満たしたのです。しかし、一方、学問はなくても、神に忠実な歩みをしていたペテロ、ヨハネを始めとした弟子たちはキリストを正しく認め、神からの恵みを受けたのです。

神の方法は完全であり、初降臨のキリストを通してつまずくべき人はつまずき、残るべき人は残ったのです。全ての人の真の心、隠れた本音は初降臨のキリストという難問を通して、見事に明らかにされたのです。

＜再臨のキリストも難問である＞

さて、初降臨のキリストのときに起きたことからは、終末の再臨の日に起きることの型であると理解できます。何をいっているのかというと、終末の日の再臨のキリストも難問であり、キリストはつまずきの岩として来られる可能性がある、と語っているのです。

＜黙示録は難問、つまずきの岩として用いられる＞

黙示録を始めとした聖書の終末の記述はとても難解です。何度読んでもすっきり意味がわかりません。色々の人の解釈を読んでもあまりぴんときません。一体何故神はこのような難解な書を聖書に含んだのでしょうか？このことに関して私の意見をいわせていただくなら、私はこう思っています。そもそも神はこれらの終末の記述を全てのクリスチャンに理解させようと思っておられない、逆にこれらは再臨の日の難問、つまずきの岩として、多くのクリスチャンをよりわけ、区分するために用いられる、私にはそう思っているのです。難問、つまずきの岩、すべての人の心をあらわにするためにキリストの再臨は用いられるのです。

難関の大学が入学試験で難問を出すのは受験生をよりわけするためです。その難問を通してある人は正解し、合格し、ある人は誤答し、合格できないのです。このように、難問はよりわけのために使われます。同じく神は終末の日のキリストの再臨という難問を通して、クリスチャンをよりわけようとしておられる、と思えるのです。



幼子キリストとシメオン

「反対を受けるしるし」 by エレミヤ

また、これらの終末の記述を通して全ての人の心の思いが明らかになります。以下のことばが成就するのです。

黙示録 2 : 23 こうして全教会は、わたしが人の思いと心を探る者であることを知るようになる。

<終末の教理を通して人の心が明らかにされる>

かつての日、初降臨の日、キリストに対して人がどう向き合うか、彼を受入れるか、拒絶するか、ということを通して人々は区分され、より分けられてしまいました。

再臨の日も同じです。具体的には人がどのような再臨教理をつかむか、ということを通して人の本音や隠れた心が現れるものなのです。

たとえば、艱難前携挙説や、2段階携挙説は聖書の記述と矛盾したおかしい教えです。しかし、何故多くのクリスチャンはこのような異端教理を喜んで受入れるのでしょうか？

それはこの教理がクリスチャンの隠れた本音、「たとえキリストのためとはいえ、自分だけは艱難時代になど巻き込まれたくない」という本音に寄り添うものだからです。本音があらわれているのです。しかし、このような異端教理に関して聖書は前もって、以下の様に警告しています。

2テモテ4:3 というのは、人々が健全な教えに耳を貸そうとせず、自分につごうの良いことを言うてもらうために、気ままな願いをもって、次々に教師たちを自分たちのために寄せ集め、

4:4 真理から耳をそむけ、空想話にそれて行くような時代になるからです。

このような教え、艱難の前に挙げられるとは耳ざわりのよい、しかし、真理から外れた空想話なのです。このようなおかしい再臨教理をつかむという事実を通してその人の心の本音、隠された心があらわになるのです。

<多くのクリスチャンはキリストの再臨の日、よりわけられる>

前述しましたように初降臨のキリストは、すべての人に歓迎されたわけではありません。逆に「この子は、イスラエルの多くの人が倒れ、また、立ち上がるために定められ、また、反対を受けるしるしとして定められています。」と預言されたように、キリストは多くの人が倒れ、反対をうけるしるしとして来られました。

このことは再臨の日にも再現するでしょう。すなわち、キリストの再臨の日、再臨の教理は多くの人が倒れるために用いられるようになるでしょう。それは、神がかつての日の様に終末の日に人の心の思いを明らかにしようと志しておられ、偽善者をよりわけようとしておられるからです。

<再臨の教理はわなとして用いられる>

かつての日、主の初降臨の日にはキリストの来臨に関する教理やみことばがわなとして用いられました。

「反対を受けるしるし」 by エレミヤ

すなわち、「メシヤはベツレヘムで生まれる」との教理やみことばがわなとなり、多くの偽善者たちは、ナザレのイエスにつまづいたのです。

同じことは終末の日に再現するのでしょうか。今、キリスト教会に伝わっている再臨教理、終末教理はその日、多くの偽善クリスチャンを捕らえるわなのように用いられるでしょう。

すなわち、艱難の前に挙げられるはずだ、との偽りの教理を盲信している人々は実際に艱難時代に入ってもそれと気付くことはないでしょう。またEUが獣の国になると盲信している人々は実際の獣の国であるアメリカがその支配を始めても悟らないでしょう。

同じ意味あいでは他のおかしな教理、すなわち、第3神殿が建つたの、中東の7年の平和条約だの、ゴグはロシアだのの教理をつかむ人々もわなに入るでしょう。

結論として再度繰り返します。キリストの初降臨の日は明らかにイスラエルの民のよりわけとして用いられました。キリストの来臨を通して多くの人は見事によりわけられ、その隠れた心があらわにされてしまったのです。

シメオンは「ご覧なさい。この子は、イスラエルの多くの人々が倒れ、また、立ち上がるために定められ、また、反対を受けるしるしとして定められています。」とキリストの生涯に関して預言しました。

この預言は成就し、多くの偽善的なユダヤ人は結局はキリストに反対し、拒否し、死刑判決を行い、その結果、当時のイスラエルの多くの人々は倒れ、

神の前に永遠の命を失いました。また、シメオンが「それは多くの人の心の思いが現われるためです。」と預言したように、偽善的なパリサイ人や律法学者たちを始めとする人々の多くの人々の隠れた心の思いがあらわにされました。彼らはキリストに反対し、彼を十字架につけることにより、実際は神に反逆するものであるとの心の本音を表しました。

私は同じ日が終末の日、再臨の日に再現すると語っているのです。

初降臨の日のことは再臨のキリストの日の型であり、再臨も明らかに今の時代のクリスチャンへのよりわけとしておこなわれることを正しく正しく理解しなければなりません。終末の日、再臨の日の前にすでに多くのクリスチャンの心の思いが明らかにされつつあります。そうです、私の理解が正しければもうすでにクリスチャンへのよりわけはおこなわれつつあり、多くの偽善的な人々はもうすでにより分けられつつあります。しかし、私たちは正しく神の真理、神のことばに立ちましよう。以上



キリストの再臨は難問

イエスは時を悟りなさいといわれました。では今ほどのような時代でしょう。現代は、世俗的ヒューマニズムが非常に重要視されている時代といえるでしょう。人道主義的な考えにより、少数の弱者を守る、平和を求めて争いをなくす働きが広がっています。女性の権利を守るフェミニズム運動、差別を受けている人を守る運動など多くの働きが起り、ヘイトクライム規制法や、LGBTを守る法律が多くの国で作られている時代です。

最近のニュースでは、人気のある子供TV番組「セサミストリート」は、正式なTwitterページで、「レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー(LGBT)」の支持を表明しました。「セサミストリートは、あらゆる形、大きさ、色の家族をサポートすることを誇りにしています」と書かれています。(Christian News. NET 2017/6.30)

セサミストリートは米国で1969年から放映されている、子どもの基礎教育番組であり、現在は150国に放映され高い評価を受けている番組です。世界的に大きな影響力のあるこの番組は、公にLGBTの支持を表明しました。

また、世俗的ヒューマニストの一人としてビートルズのジョン・レノンがいます。没後37年経った今も人気は高く、彼の曲「イマジン」は多くの人々が共感し愛唱されています。この曲は、国家や宗教で起こる対立や憎悪を無意味なものとし、この曲のユートピア的な世界を思い描き共有すれば世界は変わる、と訴えかけるものだと言われています。確かに弱者の権利を守り、争いをなくしていくことは非常に大切なことですが、世俗的ヒューマニズムの考えの中には、神と言う概念は存在していません。あくまでも人間中心であり、人間の可能性、人間の道徳観、倫理観、知恵

ですべてをよくしていこうとするのです。

世俗的ヒューマニズムの考え方は、唯一の神の存在は否定しており、神の戒めを完全に無視しています。それどころか神の言葉を守るように行動すると、世俗的ヒューマニズムの観点からは犯罪とされてしまうのです。この観点から成り立った同性愛者の保護の法律により、同性愛は罪であるという神の言葉は完全に違法とされてしまいました。また、すべての宗教は互いに寛容であるべきと言う考え方、エキュメニカル的な観点からは、イエス・キリストのみに救いがあると宣言することは非寛容とされてしまいます。

世俗的ヒューマニズムの時代において教会はどうしているのか、最近のニュースをいくつか見てみましょう。

アメリカ、ニューメキシコ州のアルバカーキ・メノナイト教会(Albuquerque Mennonite Church)は、月曜日同性愛者エリカ・リー(Erica Lea)を新しい牧師に選んだと発表した。リーは、現行の移民政策、人種、社会、経済的差別の影響を受けた人々とつながりを持つ強い呼びかけと、LGBTQコミュニティのための灯台と安全な避難所の提供を呼び掛けている」とのべた。(Christian News. NET 2017/9.20)

スウェーデンの教会は聖職者にすべての形の礼拝を管理する新しい管理ブックを採用し、神に対する唯一の男性参照代名詞を止めさせるように促した。ハンドブックは司祭が神について話すように推奨されている方法を大きく変える。スーザン教会のスポークスマンは英国のテレグラフに「私たちは、イエス・キリストについて語るが、いくつかの地域では、「彼」の代わりに「神」と言うように変えている。

時代を悟る 「人間の教えを、教えとして教える者」 H.F

「他の人よりもジェンダーに重きが置かれた祈りの選択肢がいくつかある。大多数の人々が本を決めた。」と語った。スウェーデンTT通信によると、ハンドブックの目標は神をより「包括的」にする言葉であるという。-

Equemenia教会の副議長であるSofia Camnerinは、「包括的な言葉」の使用を擁護し「社会における様々な差別や不公平の認識に基づいている」と指摘した。(The Western Journal 2017/11. 25)

ロンドンのイングランド教会は、イエス・キリストとムハンマドのための共同誕生日祝賀会を開催した。キングストン・アポン・テムズ(Kingston upon Thames)のオールセイントズ教会(All Saints Church)で日曜に「Milad, Advent and Christmas Celebration」がおこなわれました。告知のチラシでは預言者ムハンマドの誕生日を記し、イエスの誕生日を楽しみにしている、と記されています。(The Christian Institute 2017/12. 7)

アメリカでの同性愛の牧師の任命、スウェーデンの教会でのフェミニズム的観点から神の呼び方の変更、イギリスの教会でのエキュメニカルなイスラム教とキリスト教の合同集会など、最近ニュースを少し挙げただけでも教会は、人道主義的な考え、世俗的ヒューマニズムという人間中心の考えが入りこんでいることがわかります。教会が、神の言葉よりも人の教えを優先するようになっていきます。主イエスが当時にパリサイ人に「偽善者たち。イザヤはあなたがたについて預言しているが、まさにそのとおりです。『この民は、口先では、わたしを敬うが、その心は、わたしから遠く離れている。かれらはが、わたしを拜んでも、むだなことである。人間の教えを、教えとして教えるだけだから。』」(マタイ15;

7~8)といわれました。人間の教えを優先していたのは、当時のパリサイ人だけでしょうか。今の時代も当時のパリサイ派の指導者達と変わらないのではないのでしょうか。指導者たちが人間の教えを神の言葉とすり替えて、教えとしているのは同様です。

マタイ16; 23でイエスは次のように言われました。

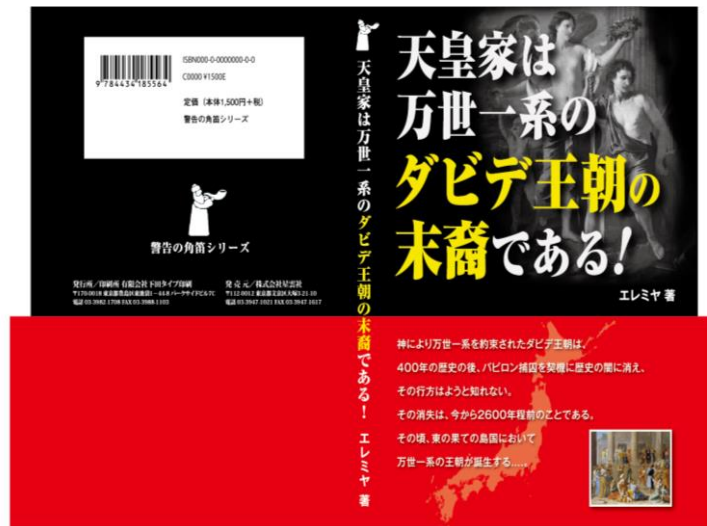
しかし、イエスは振り向いて、ペテロに言われた。「下がれ。サタン。あなたはわたしの邪魔をするものだ。あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている。」

人間的な考えをした筆頭弟子のペテロにさえ、「下がれ。サタン」と主イエスは厳しく叱責されています。神のことを思わず、人のことを思う者は主イエスの邪魔をする者だ、と言われたのです。まさしく今の教会も、神のことを思わず人のことを思っている時代ではないのでしょうか。人間的な考え、世俗的ヒューマニズムに影響されている今の教会は、主イエスにはどのように見えているのでしょうか。時を悟らなくてはなりません。



セサミストリートも同性愛を支持する

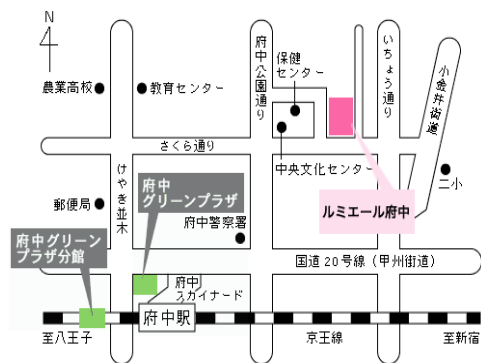
●エレミヤの新刊「天皇家は万世一系のダビデ王朝の末裔である！」



定価:¥1,500+消費税 ※注文を御希望の方は、以下へご連絡下さい。
 警告の角笛出版 tel:042-364-2327 fax:020-4623-5255
 mail:truth216@nifty.com

●レムナントキリスト教会「日曜礼拝」のご案内

曜日/時間:毎週日曜日 午前 10:30-12:30
 午後 14:00-16:00
 場所:東京都京王線府中駅前、府中グリーンプラザ本館
 (tel:042-360-3311)
 1Fのエレベーター脇の部屋表示板で、
 「レムナントキリスト教会」の部屋をご確認ください。
 どなたでも来会歓迎、入場無料です。



礼拝場所のURL: http://www.fuchu-cpf.or.jp/green/access/map_02.html

★教会のHPもあります。
 ご興味のある方は、“Yahoo! Japan”で、「府中 レムナントキリスト教会」で検索ください。
 尚、レムナントキリスト教会はプロテスタントの教会です。ものみの塔や統一教会とは関係ありません。

☆クリスチャンの方におすすめのサイト:エレミヤの部屋

<http://www.geocities.co.jp/Technopolis/6810/>

☆クリスチャン向けへのブログサイト:終末の風

<http://whattopics.at.webry.info/>

☆クリスチャンになったばかりの方やノンクリスチャンの方におすすめのサイト:オリーブ&ミルトス

<http://remnantnotudoi.jimdo.com/>

☆ノンクリスチャン向けへのブログサイト:パンの家

<http://87494333.at.webry.info/>